

青森市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

(令和七年条例第四号) 新旧対照表【第六条関係】

改正後	改正前
<p>(虐待等の<u>禁止</u>)</p> <p>第十三条 <u>乳児等通園支援事業所</u>の職員は、利用乳幼児に対し、法<u>第三十三条の十一</u><u>項各号</u>に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>(規程)</p> <p>第十六条 乳児等通園支援事業者は、次に掲げる乳児等通園支援事業の運営についての重要事項に関する規程を定め、これを当該乳児等通園支援事業所の職員及び利用乳幼児の保護者等に周知しなければならない。これを変更したときも同様とする。</p> <p>一～五 〔略〕</p> <p>六 _____利用定員</p> <p>七 乳児等通園支援事業の利用の<u>開始及び</u>終了に関する事項<u>その他の</u>利用に当たつての留意事項</p> <p>八～十一 〔略〕</p> <p>(乳児等通園支援事業の区分)</p> <p>第二十条 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>3 余裕活用型乳児等通園支援事業とは、保育所、認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）第二条第六項に規定する認定こども園をいい、保育所であるものを除く。第二十四条第三項第一号及び<u>第二十七条第一項第二号</u>において同じ。）又は家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事業を除く。<u>同項第四号</u>において同じ。）を行う事業所において、当該</p>	<p>(虐待等の<u>防止</u>)</p> <p>第十三条 <u>乳児等通園支援事業者</u>の職員は、利用乳幼児に対し、法<u>第三十三条の十各号</u>_____に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>(規程)</p> <p>第十六条 乳児等通園支援事業者は、次に掲げる乳児等通園支援事業の運営についての重要事項に関する規程を定め、これを当該乳児等通園支援事業所の職員及び利用乳幼児の保護者等に周知しなければならない。これを変更したときも同様とする。</p> <p>一～五 〔略〕</p> <p>六 <u>乳児、幼児の区分ごとの</u>利用定員</p> <p>七 乳児等通園支援事業の利用の<u>開始、</u>_____終了に関する事項<u>及び</u>_____利用に当たつての留意事項</p> <p>八～十一 〔略〕</p> <p>(乳児等通園支援事業の区分)</p> <p>第二十条 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>3 余裕活用型乳児等通園支援事業とは、保育所、認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）第二条第六項に規定する認定こども園をいい、保育所であるものを除く。第二十四条第三項第一号及び<u>第二十七条第二号</u>_____において同じ。）又は家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事業を除く。<u>同条第四号</u>において同じ。）を行う事業所において、当該</p>

改正後	改正前
<p>施設又は事業を利用する児童の数（以下この項において「利用児童数」という。）がその施設又は事業に係る利用定員（<u>子ども・子育て支援法（平成二十四年法律第六十五号）第二十七条第一項又は第二十九条第一項の確認において定める利用定員をいう。</u>）の総数に満たない場合であって、当該利用定員の総数から当該利用児童数を除いた数以下の数の乳児又は幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。</p> <p>（準用）</p> <p>第二十八条 <u>第二十五条及び第二十六条</u>の規定は、余裕活用型乳児等通園支援事業について準用する。_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>（電磁的記録）</p> <p>第二十九条 乳児等通園支援事業者及びその<u>乳児等通園支援事業所の職員</u>は、記録、作成その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、書面に代えて、当該書面に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であつ</p>	<p>施設又は事業を利用する児童の数（以下この項において「利用児童数」という。）がその施設又は事業に係る利用定員_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____の総数に満たない場合であって、当該利用定員の総数から当該利用児童数を除いた数以下の数の乳児又は幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。</p> <p>（準用）</p> <p>第二十八条 <u>第二十三条及び第二十四条</u>の規定は、余裕活用型乳児等通園支援事業について準用する。<u>この場合において、第二十三条中「一般型乳児等通園支援事業」とあるのは「余裕活用型乳児等通園支援事業」と、第二十四条中「一般型乳児等通園支援事業を行う者」とあるのは「余裕活用型乳児等通園支援事業を行う者」と読み替えるものとする。</u></p> <p>（電磁的記録）</p> <p>第二十九条 乳児等通園支援事業者及びその<u>職員</u>_____は、記録、作成その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、書面に代えて、当該書面に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であつ</p>

改正後	改正前
て、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。) により行うことができる。	て、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。) により行うことができる。